

あたしのしごと

しみずき

「わたしは、おかあさんにたのまれて「ちび
おかあさん」になることがあります。えびら
んをつけて、ごはんづくりやおとうのめん
どうをかまます。

「ゆうがたになっ。ちう、
「ごはん、なに？ うとび？」

とおかあさんにきいて、「おこめきとぎます。

おこめのなかにてまいれると、すこいつめた
くてさもちがいいです。つぶつぶ、さらさら
しているところをみます。

「すいはとまがらびびび。」とおとがして、
ふたをあけるとまのしろで、ほかほかのどは
んができています。おとうさんはよくたぐる
のでおおもり、おかあさんへはふつう、おにい
ちかんとわたしはすこしだけにします。おと
うとはいつさいだけび、わたしにまけないく
らいたぐるときがあとです。ごはんをてーぶ
るにはこんだあと、さいごのしごとはいしかも

いじついたごはんをぱちぱちとなめえたがる
ことですが。このごはんがなぜかおいしくた
まりませぬ。

ちぢぢおかあさんのじごせはたいへんだけど
ぢぢくがよろこんでくれるとうれしくなり
ます。

「いつもありがとう。たあかたよ。」
とおかあさんにほめてもらうると、もっとや
るきがでてきます。

「こんど、おりにもちょうせししたり
います。ごはんにあうかえりすきつくりた
いです。」